

# 東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

5月	午前 ①10:00～ ②11:15～	午後 ③13:15～ ④14:30～
1 金	震災紙芝居 (浪江町)	震災経験とその後の活動 (南相馬市)
2 土	『残照』～震災の記憶～ (相馬市) <span style="float:right">【研】</span>	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町) <span style="float:right">【研】</span>
3 日	生きのびるために (双葉町)	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと (南相馬市) ※13:15～の回は手話通訳が付きま
4 月	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
5 火	当時11歳にとっての東日本大震災 (富岡町)	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと (南相馬市)
6 水	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	震災・原発事故を語る (双葉町)
7 木	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)
8 金	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～ (双葉町)	役場職員 震災直後の5日間 (浪江町)
9 土	震災・避難・現在の歩み (富岡町)	置き去りにされた動物 (浪江町)
10 日	ふるさとで暮らす (大熊町)	自分の命を守る (いわき市)
11 月	震災発生から全町避難を振り返って (富岡町)	紙芝居で伝えたいこと (浪江町)
12 火	休 館 日	
13 水	あの日の震災から学んだこと (富岡町)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)
14 木	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
15 金	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと (南相馬市)
16 土	震災・原発事故を語る (双葉町)	浪江に生きる記憶－あの日から始まった「ふるさと」との対話 (浪江町)
17 日	当時11歳にとっての東日本大震災 (富岡町)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)
18 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市)	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)
19 火	休 館 日	
20 水	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)	東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町)
21 木	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市)	「当たり前」はない (大熊町)
22 金	10:00～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 11:15～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)	13:15～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 14:30～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)
23 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町)	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと (南相馬市)
24 日	生きのびるために (双葉町)	自分の命を守る (いわき市)
25 月	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
26 火	休 館 日	
27 水	東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町)	双葉の子どもたち (双葉町)
28 木	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市)
29 金	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市)	長い避難生活を支えた励ましの数々 (富岡町)
30 土	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
31 日	紙芝居『菜の花物語』 (南相馬市)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)

※タイトル横の ( ) 内は語り部の震災当時の居住地です。

※5/2 (土)～6 (水) はGW期間であるため「研修室」を会場とし、座席数を増やして開催いたします。(上記【研】がある日)

※スケジュールは2026/4/30現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。